

# 支 援

## 東京都教育支援コーディネーターミーティング報告(11/9)

東京都主催の教育支援コーディネーターミーティングが、11月9日（水）に多摩市立多摩第一小学校で行われました。多摩地区が対象でしたが、多摩市、八王子市、日野市、町田市のほかにも、中野区、板橋区などからの方も含めて40名あまりの参加でした。

小学校2校、中学校2校（町田市からは金井中学校の絵手紙の取り組み等）の事例発表のあと、ワールドカフェ方式でミーティングを行いました。

「やはり、行政の支援が必要です」とか、「ボランティアはどのように確保しているか」など、直面している課題についてそれぞれ真剣に話し合っていると感じました。このように他地区の方と話し合うと、「予算面では町田市は恵まれている」といつも思います。その間に、次の段階の活動のあり方を考えておくことも必要かなと思います。

※会合の報告が地域教育推進ネットワーク東京都協議会のサイトにアップされています。

<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/net/netkyou0702.htm>



事例発表者 金井中学校 vc 関根さん



会場の様子

## 東京都教育支援コーディネーターフォーラム報告(11/26)

11月26日（土）に、東京都教育支援コーディネーターフォーラムが都庁で開催され、町田市からも6人の方に参加いただきました。今年度も「東京都学校支援ボランティア推進協議会事業」実施自治体による「地域コーディネーター活動紹介」の展示が行われ、町田市内の取り組み紹介は、町田第五小学校にお願いし「ふれあいサタデー」の内容が掲示されました。

開会セレモニーのなかでは、小平市のコーディネーターから「授業・クラブ活動における企業の出前教室の事例」が紹介され、東京都の教育支援アドバイザーから『『総合的な学習の時間』の授業時間数も減少する中、今後の外部人材を活用した授業については教科と連動していく必要がある』とのお話がありました。

会場では、多数の企業・NPO等が出展され、出前教室等さまざまな企画が紹介されており、出展団体・コーディネーターによる地域を超えた情報交換も行われていました。

最近、企業の社会貢献が求められているなか、東京都としてもキャリア教育の推進に力をいれており、数年前より企業と学校・コーディネーターをつなぐ場として本フォーラムを実施しています。

町田市においては、お店の仕事、職場体験、そして出前教室等、さまざまな形で地域店舗・企業様にご協力を頂き、また、ゲストティーチャーや授業補助のボランティアの方にも、キャリア教育の一翼を担っていただいております。町田市では地域との密着に重点を置いてコーディネート活動をお願いしておりますが、今後、より専門的な学びを目指す中で、アンテナを高くして引き出しを多くする機会も必要になるかと思っております。参加された方は、それぞれの地区で内容を紹介していただければと思います。

## 「南中学校」「町田第二中学校」の補習学習

### <南中学校>

補習学習には、基礎学力の確実な習得と、学習に取り組む意欲の醸成・学習習慣の確立という目的があると思います。市内中学校でも補習学習への取り組みが、少しずつ広がってきています。夏休みは時間が確保しやすいため、期間限定で取り組む学校もありました。これらの中から、南中学校の取り組みと町田第二中学校の活動終了後のミーティングを参観しました。

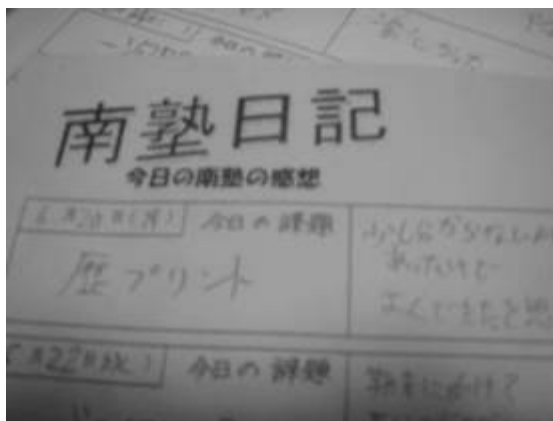
南中学校では「南塾」に取り組み始めて4年目になります。最初は帝京大学と連携して予算を得て、支援スタッフも派遣していただいていたのですが、現在は学校独自で企画・運営をしています。

月・水・金の週3回、校舎とは別棟のプール棟の部屋で実施し、スタッフの部屋もあります。初めは学生スタッフもいましたが、現在は10名ほどの地域の方にマンツーマンで教えていただいています。70歳代の方も元気に活動しています。生徒一人ひとりのファイルがあり、学習したプリントやボランティアの方との交換日記のようなものが綴じられています。

募集プリントを配布したり、三者面談のときに勧めたりして生徒を募っています。定期考査前には、生徒達は特に多く来るそうです。

副校長先生は、「生徒はボランティアの方の認め、励ます温かい人のぬくもりで、学力だけでなく生きる意欲、生き方そのもの、努力を継続することの大切さなど、さまざまなことを学んでいます」とおっしゃっていました。ボランティアの方の中には、人となりのすばらしさを見て学校支援地域理事をやっていただいている方もいるそうです。

鶴川三小の「読み聞かせボランティア」、金井中の絵手紙への地域の方のコメントでも感じましたが、地域にお住まいの高齢者の方は、児童生徒をととても温かいまなざしで受け入れて、人間信頼のベースになる体験をさせてくださいます。これまで以上に、信頼してボランティアとして学校に来ていただいたらどうでしょうか。



### <町田第二中学校>

前回の町田二中の取材では、指導後の振り返りの時間が参観できなかったので、指導場面と振り返りの時間を再度取材に行きました。学生ボランティアにとっては有意義な振り返りの時間であり、生徒の指導にとっても有効な時間だと思います。学生ボランティアを育てるという観点から、自信を持って紹介できます。放課後学習の全体の流れが把握できましたのであらためて紹介します。(町田の教育 11/21 号にも掲載されています)

## 1 中学校の現状認識と解決の意思

- ① 学力調査や生徒の学習の様子から、学校が学習支援の必要性を感じて実施を決定する。
- ② 学習支援教室担当教諭が企画を立て、校内体制を作る。
- ③ 特別支援委員会で、学習支援の対象者をピックアップする。
- ④ 保護者に学習支援を行うことを伝え、生徒を募集する。

## 2 人材確保

① どのような人材に指導してもらおうか、方針を決定する。(学生・地域住民・元教育関係者)

町田市では学生に依頼することが多いですが、もっと地域の方を活用されたらよいのではないかと考えています。学生は前期と後期で活動できる曜日が変わり長く続けにくいですが、地域の方は連絡もつきやすいし、長く続けていただけます。人材確保の段階で、学校支援センターと連携を取っていただくと、人材紹介もできます。

② ボランティアコーディネーターによる人材確保

大学に直接依頼に行ったり、町内会等の地域の集まりで依頼したりすることもあるそうです。しかし、今年度の中学校 VCM で小平市の布 昭子氏がおっしゃっていたように、「地域の方に依頼するときは、自分が絶対大丈夫だと思う方をお願いする」という言葉は忘れてはならないと思います。

## 3 実施前の打ち合わせ

- ① 学習支援教室担当教諭が中心となって進める。
- ② ボランティアが担当する生徒を決める。
- ③ 前回の結果やつまづいている箇所を振り返り、当日の学習計画を立てる。
- ④ 教材を受取り打合せ終了。



## 4 実施

- ① マンツーマンで指導し、即座に評価・指導・励ましを行う。
- ② 部活で遅れてくる生徒や、途中で退出する生徒など、生徒の日々の生活に柔軟に対応することを心がけている。
- ③ 主に、数学・英語・国語の学習に取り組んでいる。

## 5 振り返りの時間

- ① 担当した生徒が学習したこと、その結果、教材の適否を報告しあう。
- ② 話し合った結果を元に、学習支援教室担当教諭は次回の教材の準備をする。
- ③ 次回の日程の確認をする。



## 中学校部活指導ボランティア(2)

鶴川中学校のソフトテニス部では、5年前から毎週土曜日にボランティアの方の指導を受けています。お嬢さんが鶴川中学校に入学しソフトテニス部に入ったとき、経験のある保護者として指導を依頼されたのがきっかけだそうです。当時のことを思い出すと、「父親として家では伝えにくいことでも、部活のコーチとしてソフトテニスを通して伝えることができた」と言われていました。

当日は、「観て 見て 鶴中」が開催されており、小学生もたくさん来ていて、部活動見学にもなっていました。練習計画を立て、整然と練習していました。週1回なので、なかなか生徒一人ひとりに合わせた練習は難しいとのことでした。しかし、週1回とはいえ本格的なコーチに指導を受けられる生徒は、きっと充実感を味わっていることと思います。



## 小学校のクラブ活動指導ボランティア 南成瀬小学校

多くの小学校が囲碁・将棋クラブなどでボランティアの方に指導していただいています。南成瀬小学校では、地域の方、教員OBの方を中心に、卓球、バドミントン、琴、手芸・料理の4つのクラブ活動で指導をしていただいています。教員が全ての児童の興味関心に応じて、クラブ活動を行うというわけにはいきません。そんな時、学校のオーダーを受けてボランティアコーディネーターの果たす役割は大きく、また学校はとても助かると感じます。

南成瀬小学校でも、ボランティアの方の助力により本格的な指導を受けることができていると感じました。特に琴のクラブでは、成瀬センター祭りに出演するまでになっています。ふるさとの合奏で「歌うように弾きなさい」という言葉が印象的でした。バドミントンクラブでは、ルールを覚えて試合が始まったところでした。これぞ地域の教育力と感じました。



### <事務連絡>【来年度の教育計画作成に向けて】

そろそろ来年度の教育計画作成しているところかと思いますが。校長先生に来年度の構想をお聞きする場を設定してもらい、コーディネーターとしての計画を立てる準備をしておくと、4月がスムーズにスタートできると思います。特に、補習学習やサマースクールを企画しようとしている学校は、しっかりと情報収集をされたらよいと思います。